

# スピード感持って対応

自由民主党京都市会議員団は、10月31日、平成24年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望を門川大作市長に提出しました。要望は前文と5つの常任委員会別項目と行政区別項目からなっています。(4面に常任委員会の議論と取り組み)

## 平成24年度 予算・市政方針で要望

### 「京都の力」結集 財源確保が課題

3月11日に発生した東日本大震災は、福島原子力発電所事故を含め被災地はもとより我が国全体に未曾有

の被害をもたらした。その直後に行なわれた統一地方選挙において我が自由民主党京都市会議員団は、1議席増の23議席を確保し、引き続き第一党として市民の信託にこたえ、市民の生命と財産を守り、安心・安全な京都のまちづくりに責任をもって邁進してゆく覚悟である。

一方、国政においては、民主党政権の行き詰まりは明白であり、政権交代を掲げ国民に示したマニフェストが空手形であったことも明らかとなった。また、来年2月に予定されている市長選挙を控え、



門川市長(右)に24年度予算について要望書を渡す津田自民党議員団長(左)

3年半にわたる門川市政に対し、総括を行ってきたところだが、124項目のマニフェストについてはおおむね実現できているものと判断するに至った。京都市政に関しては、「聖域なき行財政改革」を行い、

職員や経費の削減、徹底した事務事業の見直しなどで、22年度決算では大幅な改善を成したが、今後も生活保護費の増加や高齢化の進展、子育て支援など社会福祉関係費の一層の増加が見込まれ、財源確保が大きな課題である。

今後とも山積する諸課題に対し、優先順位を明確にし、スピード感をもって対応してゆかなくてはならない。そして「はばたけ未来へ！京プラ」に沿ってあらゆる「京都の力」を結

集・発揮し実行されるように望むものである。

#### 行政区別の要望

- ▽北区 御菌橋架け替え工事と上賀茂神社周辺道路整備にあわせて、交通渋滞解消の取り組みを進めることなど9項目。
- ▽上京区 総合庁舎建設は予定通り25年度に着工することなど7項目。
- ▽左京区 岩倉出張所存続の請願採択の趣旨を十分に配慮して、配置等の検討を関係住民参加の下に進めることなど13項目。
- ▽中京区 J R嵯峨野線壬生駅(仮称)実現へ最大限の努力をすることなど4項目。
- ▽東山区 「歩いて楽しい東大路通」歩行空間創出事業の推進とその財源を引続き確保することなど4項目。
- ▽山科区 「おこしやす」やましな協
- ▽下京区 梅小路公園周辺や近隣のにぎわいに繋げるため、広域な面として有機的な観光スポットになるよう取り組みることなど9項目。
- ▽南区 京都駅「新幹線口」の駅前広場について、諸課題を充分に踏まえ、整備に取り組むことなど6項目。
- ▽右京区 嵯峨野地域など世界文化遺産等の歴史的街なみを残すべき地区の無電柱化をさらに積極的に推進することなど4項目。
- ▽西京区 桂川街道の北伸(桂川を渡る新しい橋の早期実現)を図ることなど11項目。
- ▽伏見区 久我・羽束師地域のまちづくりを推進していくまちづくりビジョン策定や都市計画道路羽束師墨染線等の整備の早期着手など10項目。

### 「公平な議会」「開かれた市会」に 改革推進委を設置

議論始まる

京都市会の4次にわたって取り組まれてきた市会改革の流れを継承し、議会機能の充実・強化及び開かれた市会の一層の推進を図るため、地方自治法第100条第12項に基づき、「市会改革推進委員会」を設置

しました。この委員会では、市会改革に関する、I前任期からの申し送り事項、II今期の代表世話人会等で提案された事項、III京都市会改革の取り組みにおいて掲げた具体的取り組みについて、開

かれた場で、議員間で協議・調整し、合意を得たものを決定事項とするものであります。そして決定事項を議長に報告し、市会運営委員会にて詳細を決定していただくこととしております。この間6回の委員会が開かれ、9月定例会市会までに「公平な議会」「開かれた市会」という観点において決定した事項をお知らせいたします。

#### 少数会派も代表質問

会派政治を基本としていたため、5人未満の少数会派には本会議場における、代表質疑(質問)を認めていませんでした。しかし、市民の信託を得た一人ひとりの議員を尊重すること、議会で市民の声をよく反映するものであるとの観点から、認めていくことに決定いたしました。

#### 本会議傍聴者に要旨

本会議場における傍聴者に対して、代表質疑(質問)の要旨を配布することで、より質疑(質問)内容を理解してもらえようとする取り組みであります。委員会では、まず、質疑(質問)項目を配布することを決定し、要旨については、今後、継続して協議することに決定いたしました。

# 防災対策、二層の充実を

## 原発事故も想定へ

### 区役所の機能強化図る

津田大三議員 (中京区)

津田大三議員 (質問) 3月

11日に東日本大震災、9月には二度にわたる台風災害で日本は大変な混乱をきたしました。防災対策の充実が喫緊の課題となっています。8月に新たな防災計画策定のための中間報告がありました。原子力災害対策・区役所機能の強化・避難所のあり方などどう対応されるのですか。

門川大作市長 (答弁) 防災

対策の充実については、8月の中間報告を踏まえ実行可能なものはすでに着手しました。優先度や重要性を勘案しスピード感を持って全力で取り組みます。原子力災害対策については、事故後すぐ、農産物や水道水の放射能検査をし、その結果をホームページに載せるなど迅速な対応して

きました。また、不安や風評を防ぐため、放射能の基礎的知識を市民新聞に折り込み、

全戸配布します。さらに、新たな防災計画の中に、原発事故を想定した計画を定めま

す。区役所機能の充実については、地域防災力の重要性を鑑み、

区役所・支所に、防災担当職員を新たに配置し、充実を図ります。避難所については、地域実情に応じた住民主体の避難所運営マニュアルを策定し、迅速な避難所の開設および運営体制の構築を目指します。また、在宅被災者支援のためマニュアルを策定するなど対策を検討します。



京都市と活発な交流が望まれる姉妹都市ザグレブ

### 津田大三議員の質問項目

- 門川市政の3年半の検証と今後
- 防災対策・防災計画の充実
  - ・災害時における避難所のあり方
  - ・原子力災害対策
  - ・区役所の災害対応機能の強化
- 姉妹都市交流のあり方

# 代表質問

9月 定例会

10月4日

## 姉妹都市交流の活性化を図ろう

津田大三議員 (質問) ザグレブの30周年・キエフの40周年を記念し、市長は両市を訪問され、私も市民団体の一員としてザグレブを訪れまし

た。しかし、市民の多くがザグレブという街を知らず、ザグレブでも京都が姉妹都市との認識はほとんどありませんでした。今後どう姉妹都市交流の活性化をされるのですか。

# 保育園待機児童ゼロへ

## 来年度当初で実現

### 分園や昼間里親の新設

田中英之議員 (右京区)

田中英之議員 (質問) 地域性や各保育園の実情も考え、待機児童解消策を考える必要があります。来年度当初に待機児童ゼロ達成のため、更なる努力が必要ですが、今後の取り組みについて伺います。

門川大作市長 (答弁) 今年度当初予算で確保した240名分の定員増、更に130名の定員を拡大する保育所整備の補正予算案を可決いただいたところであります。今後、年度途中の待機児童の状況を把握の上、なお保育需要の増大が見込まれる場合は、ただちに公

共施設を含めた分園の設置や昼間里親の新たな開設などの

た。しかし、市民の多くがザグレブという街を知らず、ザグレブでも京都が姉妹都市との認識はほとんどありませんでした。今後どう姉妹都市交流の活性化をされるのですか。

門川大作市長 (答弁) 姉妹都市交流は周年行事を機としてその後の交流を深めることが大切です。今回のザグレブ・キエフへの訪問を機に、ネットワークの地ザグレブと西陣

織のネットワーク交流、キエフとバレーなどの文化交流が始まります。昨年30周年を迎えたグアダラハラと森林交流など、今後各姉妹都市の特長を生かした交流を深めます。

## 洛西に魅力ある「道の駅」設置

田中英之議員 (質問) 京都第二外環状道路は、24年度末完成予定となっております。西京区役所洛西支所が地元の皆様と協議されており、産業観光局や建設局、地域とも十分に連携を図りながら、洛西地域に魅力あふれる「道の駅」を設置すべきですが、いかがですか。

門川大作市長 (答弁) 西京区基本計画においても、大原野地域の農業と観光振興のため、「道の駅」などの拠点の設置を検討することを掲げています。「道の駅ウッドイール京北」等が賑わい、地域の活性化に貢献しているのは、地域の皆様の多大な熱意とご努力の賜物であり、大原野も地域の皆様の主体的な取組の中で、関係局区が十分に連携し、具体化に向け取り組んで参ります。

更なる取組に着手し、待機児童ゼロの実現を図ります。

## JR太秦駅バリアフリー化整備促進

田中英之議員 (質問) JR



バリアフリー化への準備が進むJR太秦駅

備が進んでおります。「京都市交通バリアフリー推進検討会議」において、平成32年度までの新しい「京都市交通バリアフリー全体構想」の策定に向けたご検討をいただいております。JR太秦駅は、最優先の順位で早期に整備ができるよう、取り組んで参ります。

### 田中英之議員の質問項目

- ・自主財源の拡充に向けた滞納債権の回収
- ・平成24年度4月当初、待機児童ゼロへの取り組み
- ・児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の条例の制定
- ・住宅扶助に係る民間賃貸住宅家賃の代理納付
- ・観光振興につながる「道の駅」の設置
- ・JR太秦駅のバリアフリー化整備の推進

# 被災地のがれき受け入れは

## 確実な安全性確保

### 市、独自に放射能測定

桜井泰広議員 (左京区)

桜井泰広議員 (質問) 環境省が8月に発表した東日本大震災の被災地のがれき受け入れ基準は、極めて曖昧であり、市民の安心・安全・命、そして子供の未来を守る本市の使命を考えると、放射能が付着している可能性のある、安全性の確保されていない被災地のがれきは、受け付けるべきではありません。市長の考



災害廃棄物受け入れは市民の安全最優先(東北部クリーンセンター)

#### 桜井泰広議員の質問項目

- ・社会基盤施設の耐震改修
- ・上下水道施設の耐震化等
- ・被災地のがれき受け入れ
- ・災害発生時の受援力
- ・成年後見制度利用の費用負担
- ・岡崎地域の活性化ビジョン

えをお答え下さい。

門川大作市長 (答弁) 安全性の確保ができなければ、災害廃棄物の受け入れは致しません。受け入れ

る場合、放射能の濃度を確実に測定し、更に、運搬、選別、焼却、及び埋め立処分段階でも、しっかりと安全性を確認し、その情報を迅速に公開することにより、市民の安心と安全の確保と、被災地の復興に向け

た支援の両立に努めます。

### 成年後見制度の費用負担が必要

桜井泰広議員 (質問) 京都

市が定めたこの制度に関する要綱の中で、市長が申し立てを行い、且つ生活保護受給者に限り、必要な費用を市が負担することになっていますが、他の方法で申し立てを行うおうとする、経済的に困窮する高齢者等にも、市が必要となる費用を負担するべきであると考えますが、いかがですか。

門川大作市長 (答弁) 今後、認知症高齢者の一層の増加が見込まれることから、これまでの市長申し立て事案に加え、親族や本人申し立てのうち、経済的に困窮する高齢者等については、審判申し立て費用、及び後見人報酬を京都市が負担する必要があると考えており、関係部局に対し来年度からの実施に向けて、検討を指示致しました。

### 岡崎の魅力を発信するまちづくりを

桜井泰広議員 (質問) 文化

交流ゾーンである岡崎エリアの魅力を、点や線ではなく、面としてPRすることによ

り、賑わいが増していくと考えます。そしてエリアマネジメント組織である「京都岡崎魅力づくり推進協議会」との連携を強化し、岡崎の魅力を発信するまちづくりを進めな

ければならないと思います。いかがですか。

門川大作市長 (答弁) 「岡崎地域全体を面として魅力を向上させる必要がある」という議員のご意見に同感であり

ます。今後とも京都岡崎魅力づくり推進協議会と京都市が両輪となって、世界の人々が集い本物に出会う「京都岡崎」の実現に全力を注いでまいります。

# 京の橋、耐震性は大丈夫?

## 55橋は補強が必要

### 老朽化改修は5年以内に

富きくお議員 (山科区)

富きくお議員 (質問) 阪神・淡路大震災、そして東日本大震災により緊急輸送道路を確保する重要性を認識しました

が、特に本市は戦前からの古い橋も多いです。橋の耐震補強と老朽化改善を合わせて、危険度の高い橋から優先順位を決め、速やかに改修すべきと考えますが、その対応は?

門川大作市長 (答弁) 市が管理する277



耐震性は大丈夫? 都市防災上重要な京都の橋(賀茂大橋)

3の橋りょうを調査した結果、都市防災上重要な橋92橋の内、55橋が耐震補強を必要とし、244橋が老朽化修繕が必要と判明しました。優先順位や取組目標を定めたプログラムを年内に策定し、特に老朽化の進んでい

る橋は、可能な限り5年以内に完了させ、橋の健全化に取り組めます。

### 重要な産業振興策 京都経済を活性化

富きくお議員 (質問) 「聖

域なき行財政改革」に取り組み、財政再建を行ってききましたが、今後も高齢化の進展や生活保護費の増加が予想されます。税収の面からも産業振興による京都経済の活性化が最重要。そのための予算を増額すべきと考えますが。

門川大作市長 (答弁) 「雨に強いまちづくり計画」を策定し、5年に一度の大雨に対する整備率90%を達成しております。さらに、10年に一度の大雨を目標とし、雨水幹線の整備を進めています。局地的集中豪雨で、特に大きな被害が予想される京都駅、山科駅周辺の地下街は、重点的に取り組んでまいります。

るなど、産業振興は最も重要な施策であり、中小企業の経営支援機能の充実や観光振興など京都活性化を目指し、京都の強みを活かした取り組みを進めて参りました。今後とも競争が激化する中、産業界とも連携し、企業立地の促進や京都ブランドの創出、農林業の六次産業化を進めて参ります。

### 大雨浸水対策で 雨水幹線の整備

富きくお議員 (質問) 集中

豪雨が頻発、都市部でも被害が出ていますが、どう対応してゆかお聞かせ下さい。

門川大作市長 (答弁) 都市の活性化や豊かな市民生活、さらに都市格の向上につながる

#### 富きくお議員の質問項目

- ・今後の景観施策の在り方
- ・自然エネルギー普及の取り組み
- ・職員不祥事根絶と信頼される市役所づくりの取り組み
- ・早急な浸水対策の強化
- ・知恵シルバーセンター登録者数の目標達成
- ・新たな財源確保策の検討
- ・産業観光局所管の予算増額
- ・無電柱化の目標達成
- ・地下鉄事業の経営健全化
- ・橋りょうの耐震補強改修
- ・めり張りをつけた住宅耐震対策
- ・焼却灰溶融施設整備工事
- ・小金塚地域の安心安全なまちづくり(要望)

# 自由民主党京都市会議員団

## 経済総務委員会

経済総務委員会は、東日本大震災や円高による減収が懸念される中、生産年齢人口の減少、高齢化の進展に伴う社会福祉関係費の一層の増加等に対して、特別の財源対策に依存しない財政構造の確立について議論しています。

(東山区) 内海 貴夫 (左京区) 桜井 泰広



(上京区) 中村三之助 (右京区) 山元 あき



## くらし環境委員会

くらし環境委員会は、エネルギーの地産地消に向け再生可能エネルギーの利用促進や、更なるごみの減量とその有効活用について、京都マラソンをはじめとするスポーツ振興や地域コミュニティ活性化等幅広く議論しています。

(右京区) 井上与一郎 (中京区) 加藤 盛司



(南区) 島本 京司 (西京区) 田中 明秀



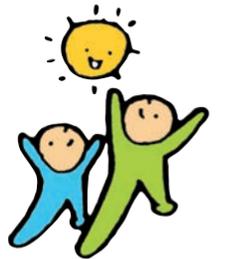
## 教育福祉委員会

教育福祉委員会は、3.11東日本大震災をはじめ、台風12号・15号による災害を踏まえた防災・減災対策を中心に、市民のいのちとくらしを守る様々な取組と、学習指導要領改定に伴う現場での教育方針等について幅広く議論しておいます。

(伏見区) ◎高橋泰一郎 (右京区) 田中 英之 (上京区) 寺田 一博



(西京区) 西村 義直 (山科区) 吉井あきら



# 常任委員会の議論と取り組み

氏名の◎は委員長  
○は副委員長

### 京都市会

## 第78代議長に井上与一郎氏

8月2日に開かれた臨時議会で第78代京都市会議長に井上与一郎議員(自民・右京区)が選出されました。

## まちづくり委員会

(伏見区) 繁 隆夫 (中京区) ◎津田 大三



(山科区) 富 きくお (伏見区) 中川 一雄



まちづくり委員会は、歩くまち・京都の推進や景観形成など魅力あるまちづくりのほか、道路や河川の維持・管理、建築物や重要橋りょうの耐震化など、安心・安全のまちづくりについて活発な論議を交わしています。

## 交通水道消防委員会

(左京区) 大西 均 (北区) 小林 正明 (下京区) 下村あきら



(伏見区) 橋村 芳和 (南区) 椋田 隆知 (北区) ◎山本 恵一



交通水道消防委員会は、より便利な市バス・地下鉄5万人増客を目指し、コトチカ等駅ナカビジネスを展開し、増収実現の為、また老朽化した水道管の取替工事の拡充を進め、防災計画見直しの総点検委員会を設置し、安心安全なまちを築くための議論を展開しています。

皆さんのご意見や  
ご要望をお寄せ下さい。

自由民主党  
京都市会議員団

〒604-8571  
京都市中京区  
河原町御池

jimin3@nifty.com  
FAX.257-3091